

「いこま棚田に学ぶ」



- ・日 時：平成 24 年 11 月 16 日（金）
- ・集合場所：近鉄奈良線 生駒駅中央改札口
- ・参加者：34 名

スケジュール

- 10:00 ケーブルカーで宝山寺へ
宝山寺見学後 ~ 生駒山中を横断 ~ 暗峠の下 “いこま棚田” へ
- 12:00 棚田広場で昼食
- 13:00 出口代表により “いこま棚田” の説明と各フィールドの見学
- 15:00 歴史的街道東側から下山 ~ 近鉄南生駒駅
全行程 約 8 km

“いこま棚田クラブ”は「棚田・里山の再生と創造」をテーマに2003年10月から西畑町で活動を続けており、シニア自然大学の多くの仲間も活躍している。
環境科は以前にも(2004年4月)棚田クラブを見学したが、その後の変化を観察し再度環境保全のあり方について学ぼうと計画した野外活動である。

いこま棚田クラブの経緯

生駒市西畑町(世帯数20戸、人口80名)は棚田の荒廃が進み休耕棚田が増えていた。歴史的にも由緒ある景観を後世に残そうと西畑自治会内に「棚田を守る会」が結成されたがパワー不足で困っていた。シニア自然大学の有志たち(6期生の出口育宏さんを中心に)は西畑町に出かけ「いこま棚田クラブ」を設立した。

いこま棚田クラブの活動

- ・ 景観整備 休耕棚田の草刈り、休耕棚田の再生と活用、向山間伐整備など
- ・ 援農 水稻栽培、そば、大豆の栽培、南高梅の栽培、棚田米購入など
- ・ 自主活動 野菜畑、花畑、菜の花栽培、竹炭、棚田体験イベントなど
地元と共同作業（大とんど、草刈り、水路清掃、収穫祭など）

写真記録

・ 生駒聖天（宝山寺）

生駒の聖天さんと呼ばれ、人気、商売のさまとして全国的な信仰をあつめている。



生駒聖天（宝山寺）本殿



生駒ケーブルで



宝山寺参道



永代供養料 1 億円

・ 生駒山中を横断



暗峠への道



奈良盆地を俯瞰



生駒山頂を仰いで

・昼休みに暗峠へ



暗峠で



峠の茶屋

・出口さんから“いこま棚田”の説明、各フィールドの見学



いこま棚田クラブ広場で



水車



里山林で



竹炭づくり



棚田全景



西畑自治会館で

いこま棚田クラブは活動を“ボランティア”とし、“自分自身の夢の実現と心の豊かさ”をモットーにしている。棚田や山の中、畑などを見学するとクラブ会員が自由に活動しているという状況が手に取るようにわかった。また近大の学生たちも棚田クラブに参加しており、山には丸太で作った階段の道があるが指導者はいない中で自分たちが作ったという。

「山の幼稚園」の活動もあり4歳以下の子供たちが自然の中で楽しく遊んでいると説明があった。



西畑自治会館前で

文/斉藤、写真/平山

担当 齊藤・奥野